

お客様各位

2025年2月
カイセ株式会社

KG-150の残量インジケータが急激に少なくなる現象に関しまして

拝啓 貴社益々御清栄の事とお慶び申し上げます。

平素は格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

標題の件、メモリーバックアップ KG-150の残量インジケータが満充電状態からご使用中に急激に少なくなる現象に関しまして下記の通りご案内申し上げます。

つきましては、下記内容をご確認のうえ、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

敬具

—記—

■対象機種 Kaiseメモリーバックアップ KG-150/KG-150N

■内容

【当該動作内容】

- ・ご使用前の残量インジケータが5ゲージ（満充電状態）であるにも関わらず、ご使用中にインジケータ数が1~2ゲージに減少してしまう。

【原因説明】

- ・ご使用時に数Aの大きな電流が流れた場合、電圧降下により内蔵電池の電圧が一時的に大きく低下いたします。この際、残量インジケータは低下している電池電圧に対応したインジケータ数となり満充電状態から急激に少なくなる現象が発生いたします。
- ・残量インジケータは一度でもインジケータ数が減少すると充電動作が行われるまで減少した状態が記憶される仕様となっております。
そのため、電流が流れなくなり内蔵電池の電圧が充電量に応じた電圧値まで復帰してもインジケータ数は減少したままとなります。
- ・なお、本体温度が低い場合は、放電時の電圧降下が大きくなり、上記の現象が発生しやすくなります。

【復帰方法】

- ・充電動作を行うことにより、インジケータ数の記憶が解除されます。
- ・充電を行うことで、内蔵電池の電圧が再測定され、充電量に応じたインジケータ数に短時間で復帰いたします。

【大きな電流が流れる原因】

- ・大きな電流が流れる原因といたしまして下記のようなことが考えられます。
 - ：キーOFF後の車両システムの作動。
 - ：電装品が作動状態でKG-150を車両に接続。
 - ：車両バッテリー電圧が極端に低下しておりKG-150内蔵電池との電圧差が大きい場合。
 - ：バックアップ中のドアオープン等の誤操作による電装品の作動。

【取扱説明書抜粋】

- ・取扱説明書に本現象について記載がございますので、以下に抜粋いたします。

掲載内容	掲載ページ
●バックアップ出力中に、車両の電装品をONにするなどして大きな電流が流れた場合、過電流保護によりバックアップ出力が停止してしまったり、本体バッテリーの電圧降下で残量インジケータが急激に少なくなる場合があります。 (本製品の仕様上、充電を行うまで残量インジケータの状態を記憶します。そのため大きな電流が流れた場合は、残量インジケータが急激に少なくなる現象が発生します。)	P3

【ご使用時のお願い事項】

- ・KG-150 を車両に接続する際はキーが抜かれていること及び、全ての電装品が OFF になっていることをご確認ください。
- ・バックアップ作業中はドアを開けたり電装品を ON にしたりしないようご注意ください。
- ・車両によってはキーOFF 後、数分間車両システムが作動し大きな電流が流れる場合があります。残量インジケータの急激な減少以外にヒューズ溶断や過電流保護が作動し電源が OFF になる可能性も考えられます。頻繁に残量インジケータ減少の症状が発生する場合、キーOFF 後バックアップ作業前に 10 分程の無操作での待機を試してみてくださいようお願い申し上げます。
- ・KG-150 の充電を行う際は、残量インジケータが全て消灯するまで充電してください。残量インジケータ点滅中に充電を終了しますと満充電まで充電が行われません。

以上